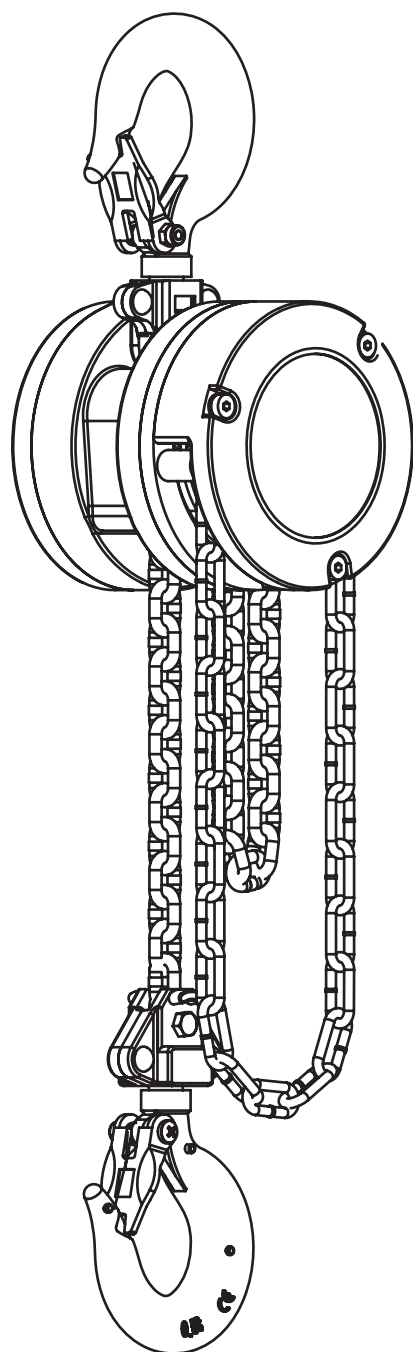


取扱説明書

MonotaRO チェーンブロック 軽量・強靱アルミボディ

注文コード: 67177410, 67177419

このたびは、チェーンブロック 軽量・強靱アルミボディをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。



目次

1 安全にお使いいただくために	2
2 安全規則	2
2.1 一般事項	2
2.2 使用前の規則	2
2.3 操作時の規則	3
2.4 使用後の規則	3
2.5 点検とメンテナンス	3
2.6 その他	3
3 主要諸元	4
3.1 使用条件	4
3.2 技術仕様	4
4 操作方法	4
4.1 概要	4
4.2 操作方法と特長	4
5 点検	5
5.1 一般事項	5
5.2 日常点検	5
5.3 定期点検	5
6 メンテナンス	8
6.1 一般事項	8
6.2 給油	8
7 故障・異常時の対応	8
8 部品リスト	9
8.1 分解図	9
8.2 部品一覧	9

警告

- 本製品の設置、操作、および保守点検は、本書の全内容を熟読し、完全に理解した方が行ってください。
- 本書の記載事項を読まず、または遵守しなかった場合、死亡や重傷といった人身事故、あるいは物的損害を引き起こす可能性があります。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要です、必ずお守りください。

⚠ 警告 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

⚠ 注意 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

⚠ 危険 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負う可能性が高い」内容です。

ご使用上の注意

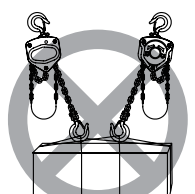
【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

2 安全規則

2.1 一般事項

本書の指示に従わない場合、死亡、重傷、または物的損害が発生する可能性があります。
本製品または類似機器に慣れている方であっても、設置、操作、保守を行う前に、本書を必ず精読してください。
本機器を他の機器と組み合わせて使用することはやめてください。誤った使用方法に起因する一切の損失、損害、およびその他の賠償請求について、当社は責任を負いかねます。
本製品の改造や定格の変更はやめてください。チェーンブロックのご使用について法規上特段の規制はありませんが、操作及び使用する方は、安全作業のために玉掛け技能やクレーンの運転の講習を受講されることを推奨します。

⚠ 警告

① 人の持ち上げ、支持、または移動の目的で本製品を使用しないでください。 	② 本製品に足で圧力をかけないでください。 	③ 2 台以上のチェーンブロックを使用して荷を吊り上げないでください。 
④ 定格荷重を超える荷を吊り上げないでください。 	⑤ 人の上や近くで荷を吊り上げたり、通過させたりしないでください。 	

2.2 使用前の規則

⚠ 警告

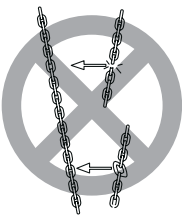
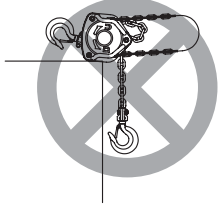
- フックに深い切り傷、削れ、または伸びがある場合は使用しないでください。

⚠ 注意

- 本製品を操作する者は、必ず本書と、本書に記載されている警告事項、ならびに製品本体に貼付されている説明・警告ラベルのすべてを読み、その内容を理解しなければなりません。また、操作の承認を得る前に、本製品の操作方法を完全に習得している必要があります。
- 銘板の記載内容がすべて、はっきりと読み取れる状態であることを確認してください。
- 毎日の使用前に、「日常点検」の項目に従って製品を点検してください。
- 吊り荷の重量に合わせて、適切な定格荷重を備えた機種を選定してください。
- フックに変形がなく、引っかかりなくスムーズに回転することを確認してください。
- ブレーキシステムが正常に作動することを確認してください。
- ロードチェーンに注油を行ってください。
- 本製品を取り付ける構造物の強度が十分であることを確認してください。
- 作業に十分な揚程があることをご確認ください。
- 作業環境を確認し、作業場所が十分に確保されていること、作業の妨げとなる障害物がないこと、作業全体を見渡せること、また足場がしっかりしており安全に作業できることを確認してください。

2.3 操作時の規則

⚠ 警告

①ねじれ、キンク、損傷、または伸びのあるロードチェーンは絶対に使用しないでください。 	②ロードチェーンを吊り具として荷に巻き付けて使用しないでください。 	③本体を支点にするような状態では、使用しないでください。 
④荷重はフックの先端ではなく、必ずフックの懐で受けてください。 	⑤ロードチェーンを鋭利な角に接触させた状態で操作しないでください。 	⑥本製品で吊り下げている状態の荷に対して、溶接や切断作業を行わないでください。 

⚠ 警告

- 損傷または作動不良のある製品は、絶対に使用しないでください。
- 荷が揺れる吊り方はしないでください。また、吊り荷を揺らさないでください。
- ロードチェーンを溶接時のアース線として使用しないでください。
- 下フックが本体に接触するまで、過度に巻き上げないでください。
- チェーンの末端に強い衝撃や張力がかかるまで、過度に巻き下げないでください。
- 異常音が発生している場合は、操作を中止してください。
- 操作中は、対象から目を離さず、集中して作業してください。
- 手動力が異常に大きくなった場合は直ちに操作を停止してください。
- 荷を吊った状態で、長時間放置しないでください。
- 衝撃荷重がかからないように使用してください。

2.4 使用後の規則

⚠ 注意

- 吊り上げた荷は、ゆっくりと安全に降ろしてください。

2.5 点検とメンテナンス

⚠ 警告

- フックの修理として、熱処理、曲げ直し、または溶接による部品の取り付けを絶対に行わないでください。これらの行為はフックの強度を著しく低下させ、破損の原因となります。

⚠ 注意

- 本製品の定期点検およびメンテナンスは、必ず資格を有する保守管理者(※)が実施してください。
- ※ 保守管理者とは、チェーンブロックの構造や仕組みに精通しており、専門知識を有すると事業体より認められた方を指します。

2.6 その他

⚠ 警告

- 使用を中止した本製品は、絶対に使用しないでください。

⚠ 注意

- 極端に腐食性の強い環境(塩水、潮風、酸、爆発性雰囲気、またはその他の腐食性化合物など)で本製品を使用しないでください。

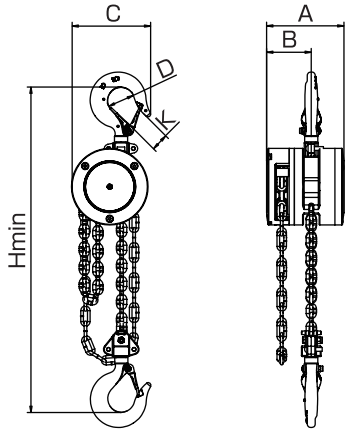
3 主要諸元

3.1 使用条件

許容周囲環境

- 動作温度: -10℃ ~ +50℃
- 動作湿度: 100%RH以下。本製品は水中で使用することはできません。

3.2 技術仕様



注文コード		67177410	67177419
定格荷重(t)		0.25	0.5
揚程(m)		2.5	2.5
手動力(N)		202	213
ロードチェーン線径×ピッチ(mm)×チェーン掛数		3.2×9×1	4.3×12×1
ハンドチェーン線径×ピッチ(mm)		2.5×14	3.5×20
質量(kg)		2.7	4.9
寸法(mm)	A	90.5	103
	B	53.5	59.5
	C	86.5	105.5
	Hmin	240	280
	D	33	36
	K	23	23

4 操作方法

4.1 概要

本製品は、標準的な作業環境下において、手動操作により荷物を垂直方向に昇降させる用途に設計されています。
ただし、重量物の取り扱いには予期せぬ危険が伴う可能性があるため、安全に関する全ての規定を厳守してください。

【安全な作業環境のための注意事項】

操作者は、本製品の使用にあたり、以下の点に留意してください。

- 操作開始前に、荷が移動する全範囲にわたって障害物がないことを明確に視認できる必要があります。視認が困難な場合は、最低2名の補助者を監視員として配置しなければなりません。
- 操作開始前に、移動範囲全体における安全が確保されていることを確認しなければなりません。

4.2 操作方法と特長

- 本製品のハンドチェーンホイール側に正対して、ハンドチェーンを時計回りに引くと荷が上昇し、反時計回りに引くと荷が下降します。
- 荷の巻き上げ中に「カチカチ」というラチェットのツメの音が聞こえることがありますが、これは正常な作動を示すものです。
- このハンドチェーンは360度全方向からの操作が可能です。

5 点検

5.1 一般事項

点検には、以下の2種類があります。

- 日常点検:
 - 使用前に操作者が行う点検です。
- 定期点検:
 - 保守管理者が実施する、より詳細な点検です。
 - 点検者は、必要に応じて当該本製品の使用を禁止する権限を有します。

5.2 日常点検

- 毎回の作業前に、以下の点を確認してください。
- 点検を行い、異常があった場合は使用しないでください。

点検項目	点検方法	判断基準
銘板	目視点検	すべての記載事項が明瞭に読み取れること。
機能	操作点検	ハンドチェーンホイール側に向き、時計回りに引いて荷が上がり、反時計回りに引いて荷が下がること。巻上げ時にツメの作動音(カチカチ音)がすれば正常。
フック	目視点検	摩耗、変形、損傷がなく、回転部がスムーズに回転すること。ボルト、ナットに緩みがないこと。
フックラッチ	目視点検	変形がないこと。完全に閉じることができ、動作がスムーズであること。
ロードチェーン	目視点検	変形、傷、もつれがないこと。明らかな錆や腐食がないこと。表面に潤滑油が塗布されていること。
その他	目視点検	ナットや割りピンの欠落がないこと。本体表面に欠陥や損傷がないこと。チェーンストッパーの欠落やねじれがないこと。

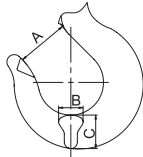
5.3 定期点検

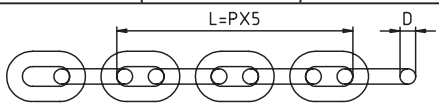
- 定期点検は1か月ごとに実施してください。
- 定期点検は保守管理者以外の方は実施しないでください。

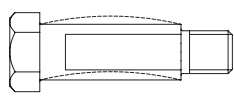
⚠

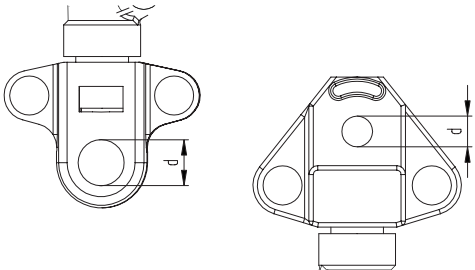
危険

- 1～7の点検項目は荷を吊った状態ではなく、必ず製品を床に降ろして行ってください。
点検を行い、異常があった場合は使用しないでください。

1フック組立	方法	判断基準																							
1.1 伸びと摩耗	測定(ノギス)																								
		<table><tr><th rowspan="2">定格荷重 (t)</th><th>寸法A* (mm)</th><th>寸法B (mm)</th><th>寸法B (mm)</th><th>寸法C (mm)</th><th>寸法C (mm)</th></tr><tr><th>新品時</th><th>標準</th><th>廃棄基準</th><th>標準</th><th>廃棄基準</th></tr><tr><td>0.25</td><td>25.5</td><td>10.5</td><td>10以下</td><td>16</td><td>15.2以下</td></tr><tr><td>0.5</td><td>25.5</td><td>15</td><td>14.5以下</td><td>20</td><td>19以下</td></tr></table>	定格荷重 (t)	寸法A* (mm)	寸法B (mm)	寸法B (mm)	寸法C (mm)	寸法C (mm)	新品時	標準	廃棄基準	標準	廃棄基準	0.25	25.5	10.5	10以下	16	15.2以下	0.5	25.5	15	14.5以下	20	19以下
		定格荷重 (t)		寸法A* (mm)	寸法B (mm)	寸法B (mm)	寸法C (mm)	寸法C (mm)																	
			新品時	標準	廃棄基準	標準	廃棄基準																		
		0.25	25.5	10.5	10以下	16	15.2以下																		
0.5	25.5	15	14.5以下	20	19以下																				
*Aの数値は公称値であり、寸法に許容差(公差)が設定されていません。そのため、寸法Aはフックが新品の時に必ず測定しておいてください。使用中の寸法Aが、購入時に測定・記録した値の1.05倍を超えてはなりません。寸法B・Cは廃棄基準を超えていないこと。																									
1.2 欠陥	目視	著しい錆、溶接スパッタ、深い切り傷、削れがないこと。																							
1.3 回転	目視・作動	引っかかりなくスムーズに回転すること。																							
1.4 フック金具	目視・作動	リベット、ナット、ボルトの緩みや欠落がないこと。																							
1.5 フックラッチ	目視	フックの口の中にしっかりと閉じてついていること。スムーズに作動すること。																							

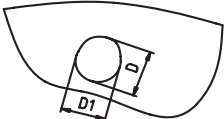
2.ロードチェーン	方法	判断基準																			
2.1 摩耗	測定(ノギス)	5リンクの長さ(L)および線径(D)が廃棄基準値(下表)を超えていないこと。																			
		<table><tr><th rowspan="2">定格荷重 (t)</th><th>5リンクの長さL (mm)</th><th>5リンクの長さL (mm)</th><th>線径D (mm)</th><th>線径D (mm)</th></tr><tr><th>標準</th><th>廃棄基準</th><th>標準</th><th>廃棄基準</th></tr><tr><td>0.25</td><td>45</td><td>46.5以上</td><td>3.2</td><td>2.9以下</td></tr><tr><td>0.5</td><td>60</td><td>62以上</td><td>4.3</td><td>3.9以下</td></tr></table>	定格荷重 (t)	5リンクの長さL (mm)	5リンクの長さL (mm)	線径D (mm)	線径D (mm)	標準	廃棄基準	標準	廃棄基準	0.25	45	46.5以上	3.2	2.9以下	0.5	60	62以上	4.3	3.9以下
		定格荷重 (t)		5リンクの長さL (mm)	5リンクの長さL (mm)	線径D (mm)	線径D (mm)														
標準	廃棄基準		標準	廃棄基準																	
0.25	45	46.5以上	3.2	2.9以下																	
0.5	60	62以上	4.3	3.9以下																	
																					
※5リンク分のピッチ長さと線径の測定には、先の細いノギス(ポイントノギス)が必要です。																					
2.2 欠陥・変形	目視	ねじれや傷などの有害な欠陥がないこと。																			
2.3 錆	目視	明らかな錆がないこと。																			

3.下フックピン	方法	判断基準											
3.1 変形・摩耗	目視・測定	ピンに明らかな変形がなく、ネジ部に欠陥がないこと。線径(D)が下表の廃棄基準以下の場合NG。  <table><tr><th rowspan="2">定格荷重 (t)</th><th>線径D (mm)</th><th>線径D (mm)</th></tr><tr><th>標準</th><th>廃棄基準</th></tr><tr><td>0.25</td><td>5</td><td>4.6以下</td></tr><tr><td>0.5</td><td>6.5</td><td>6.1以下</td></tr></table>	定格荷重 (t)	線径D (mm)	線径D (mm)	標準	廃棄基準	0.25	5	4.6以下	0.5	6.5	6.1以下
定格荷重 (t)	線径D (mm)	線径D (mm)											
	標準	廃棄基準											
0.25	5	4.6以下											
0.5	6.5	6.1以下											
3.2 錆	目視	明らかな錆がないこと。											

4. 上下フックピン穴	方法	判断基準																	
4.1 変形	測定	ピン穴径が下表の廃棄基準以上の数値になっていないこと。																	
		 <table><tr><th rowspan="2">定格荷重 (t)</th><th colspan="2">下フックピン径 (mm)</th><th colspan="2">上フックピン径 (mm)</th></tr><tr><th>標準</th><th>廃棄基準</th><th>標準</th><th>廃棄基準</th></tr><tr><td>0.25</td><td>5.1</td><td>5.5以上</td><td>8.5</td><td>8.9以上</td></tr><tr><td>0.5</td><td>7</td><td>7.5以上</td><td>10.5</td><td>11以上</td></tr></table>	定格荷重 (t)	下フックピン径 (mm)		上フックピン径 (mm)		標準	廃棄基準	標準	廃棄基準	0.25	5.1	5.5以上	8.5	8.9以上	0.5	7	7.5以上
定格荷重 (t)	下フックピン径 (mm)			上フックピン径 (mm)															
	標準	廃棄基準	標準	廃棄基準															
0.25	5.1	5.5以上	8.5	8.9以上															
0.5	7	7.5以上	10.5	11以上															

5. ブレーキシステム	点検方法	判断基準											
5.1 錆	目視	全ての部品に錆がないこと。											
5.2 ブレーキライニングの欠陥	目視	割れ、亀裂、傷などの有害な欠陥がないこと。											
5.3 ブレーキライニングの摩耗	測定(ノギス)	厚み(H)が廃棄基準値以下でないこと。 摩擦板の厚さ(H) 点検基準値表 <table><tr><th>定格荷重(t)</th><th>標準厚さ(mm)</th><th>廃棄基準(mm)</th></tr><tr><td>0.25</td><td>3</td><td>2.5以下</td></tr><tr><td>0.5</td><td>2.5</td><td>2.1以下</td></tr></table>	定格荷重(t)	標準厚さ(mm)	廃棄基準(mm)	0.25	3	2.5以下	0.5	2.5	2.1以下		
定格荷重(t)	標準厚さ(mm)	廃棄基準(mm)											
0.25	3	2.5以下											
0.5	2.5	2.1以下											
5.4 ブレーキライニングの平面度	測定(隙間ゲージ)	隙間が均一であること。内側が外側より厚くなっていないこと。											
5.5 爪 	目視	摩耗がないこと。											
5.6 爪ばね	目視	変形がないこと。											
5.7 ラチェット	測定(ノギス)	寸法Aが廃棄基準値以下でないこと <table><tr><th rowspan="2">定格荷重(t)</th><th colspan="2">A寸法(mm)</th></tr><tr><th>標準</th><th>廃棄基準</th></tr><tr><td>0.25</td><td>36</td><td>34.8以下</td></tr><tr><td>0.5</td><td>45</td><td>43.5以下</td></tr></table>	定格荷重(t)	A寸法(mm)		標準	廃棄基準	0.25	36	34.8以下	0.5	45	43.5以下
定格荷重(t)	A寸法(mm)												
	標準	廃棄基準											
0.25	36	34.8以下											
0.5	45	43.5以下											

6. 揚重系	点検方法	判断基準
6.1 ロードシーブ	目視	大きな摩耗や変形がないこと。
6.2 ディスクギア・スプラインギア	目視	歯面に大きな摩耗や欠陥がないこと。
6.3 ギアケース	目視	摩耗や変形がないこと。
6.4 ハンドホイール	目視	チェーンポケット表面に大きな摩耗や変形がないこと。 回転させてカバーに接触しないこと。

7. 本体	点検方法	判断基準									
7.1 本体フレーム 上フック軸 ピン穴	測定(ノギス)	穴径(D)が廃棄基準値以上でないこと。  <table><tr><th>定格荷重 (t)</th><th>標準寸法D1 (mm)</th><th>廃棄基準D (mm)</th></tr><tr><td>0.25</td><td>8.5</td><td>8.8以上</td></tr><tr><td>0.5</td><td>10.5</td><td>11以上</td></tr></table>	定格荷重 (t)	標準寸法D1 (mm)	廃棄基準D (mm)	0.25	8.5	8.8以上	0.5	10.5	11以上
定格荷重 (t)	標準寸法D1 (mm)	廃棄基準D (mm)									
0.25	8.5	8.8以上									
0.5	10.5	11以上									
7.2 上フック軸	測定(ノギス)	外径(D)が廃棄基準値以下でないこと。  <table><tr><th>定格荷重 (t)</th><th>上フックピンの外径廃棄基準 (mm)</th></tr><tr><td>0.25</td><td>7.5以下</td></tr><tr><td>0.5</td><td>9.5以下</td></tr></table>	定格荷重 (t)	上フックピンの外径廃棄基準 (mm)	0.25	7.5以下	0.5	9.5以下			
定格荷重 (t)	上フックピンの外径廃棄基準 (mm)										
0.25	7.5以下										
0.5	9.5以下										
7.3 チェーンガイドプレート	目視	摩耗や変形がないこと。									
7.4 チェーンストッパーピン	目視	摩耗や変形がないこと。									

定期点検1～7の項目が完了した後、以下の作動テストを実施してください。

8. 作動	点検方法	判断基準
8.1 巻上げ・巻下げ	軽荷重で昇降	昇降時に異常な重さがないこと。
8.2 ブレーキ	軽荷重で昇降	以下の問題が発生しないことを確認: (1) 巻上げができない。 (2) 荷重がゆっくり滑り落ちる。 (3) 手を離れた時に荷重が落下する。

6 メンテナンス

6.1 一般事項

不適切なメンテナンスは、死亡や重傷につながる重大な人身事故を引き起こす可能性があります。
本製品のメンテナンス作業は、必ず訓練を受けた保守管理者が実施してください。

⚠ 警告

- メンテナンス作業の実施後は、実作業を開始する前に、必ず本書の手順に従って作動試験を行ってください。

⚠ 注意

- 手や衣服がチェーン、シーブ、ホイール、その他の可動部に巻き込まれないよう、常に細心の注意を払ってください。
- メンテナンス中は、絶対に本製品を操作しないでください。
- 昇降動作に異常な重さを感じる場合は、必ずすべての項目を点検してください。
- 荷を吊ったままの状態、メンテナンスを行わないでください。
- 常に汚れや水分を拭き取ってください。
- 常に乾燥した清潔な場所に保管してください。

6.2 給油

ロードチェーン、フックラッチ、上下フックピン、フック金具などには必ず注油してください。
特にロードチェーンは本製品の重要部品の一つですので、潤滑剤で十分に潤滑されている必要があります。

⚠ 注意

- ロードチェーンには週に1回、あるいは使用頻度に応じてより頻繁に注油してください。
 - 腐食性の強い環境で使用する場合は、通常よりも頻繁に注油を行ってください。
 - 発火のおそれがあるため、火気のない場所で注油してください。
- 備考: 本製品の推奨潤滑剤は、リチウムグリース No.03です。

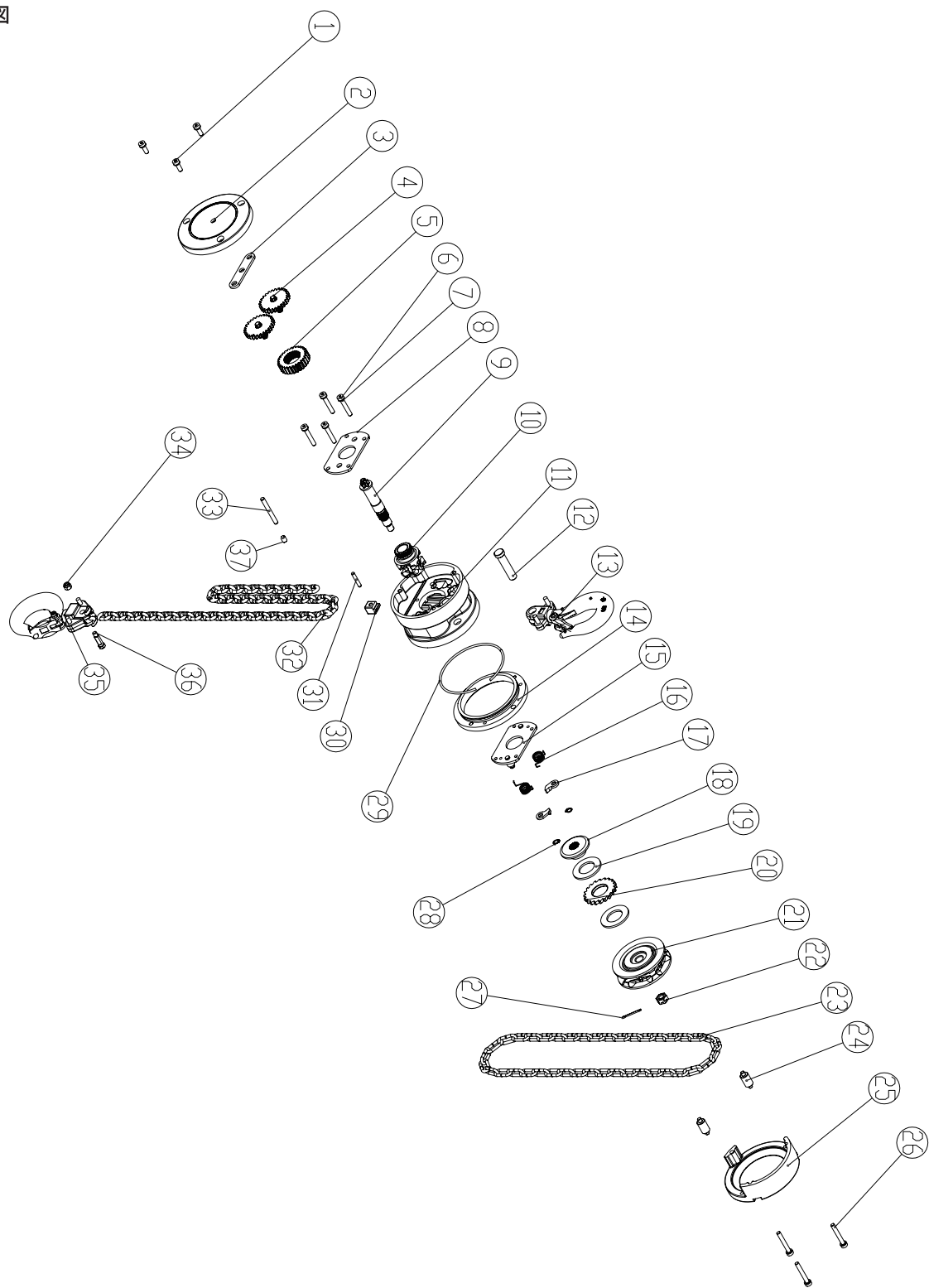
7 故障・異常時の対応

本製品の分解は、必ず訓練を受けた保守管理者が実施してください。

故障	考えらえる原因	処置
爪の作動音(カチカチ音)はするが、荷が上がらない。	ブレーキライニングの摩耗: 定期的なメンテナンスを行わずに高頻度で使用すると ブレーキライニングが摩耗します。これによりブレーキライニングと ハンドチェーンホイールの間に隙間ができ、ブレーキが滑ります。	ブレーキライニングが摩耗した状態で 使用しないでください。
爪の音が全くせず、荷も上がらない。	爪の組み込み不良: 爪が逆向きに取り付けられているか、不適切に組み立てられている ため、ラチェット円板と正しく噛み合っていない。	分解して各部品を正しく組み立て 直してください。
	爪の動作不良: メンテナンスを怠ると、爪やシャフトのグリースに汚れが付着します。 動作が鈍くなり、爪が外れた位置で固まってしまう。	分解して各部品を正しく組み立て 直してください。
無負荷の状態でも、巻上げ時に チェーンが重い。(キーキーという 異音がすることがある)	ギアの歯またはベアリングの摩耗: 定期的なメンテナンスを行わないとグリースが乾き、摩耗や損傷を 招いてギアの噛み合わせが悪くなります。	ギアやベアリングが摩耗した状態で 使用しないでください。
巻下げがスムーズにいかない、 または巻下げ時にチェーンが非常に 重い。	ブレーキの締め付けすぎ: 作業中の衝撃や、荷を長時間吊り下げたままにしたことにより、 ブレーキが強く締まってしまっています。	ハンドチェーンを勢いよく引いて、 強制的にブレーキを緩めてください。
	ブレーキ部分の錆: 定期的なメンテナンスを怠ると、錆が発生します。	ブレーキに錆がある状態で 使用しないでください。
	(ブレーキ関連部品): プレート左側、爪ばね、爪、ブレーキ座、ブレーキライニング、 ラチェット、ハンドチェーンホイール	—
巻下げを開始した瞬間に、 荷が落下する。	制動面の汚れ: 制動面の汚れを拭き取る必要があります。	分解して各部品を正しく組み立て 直してください。
	制動面への油分付着: 本機は乾式ブレーキのため、制動面にグリースや機械油が付着しない ようにしてください。	制動面やブレーキライニングには 絶対に油やグリースが付着しない ようにしてください。
荷が滑り落ちる。	制動面への油分付着: 本機は乾式ブレーキのため、制動面にグリースや機械油が付着しない ようにしてください。	制動面やブレーキライニングには 絶対に油やグリースが付着しない ようにしてください。
	制動面の汚れ: 組み立て時に制動面の汚れを拭き取る必要があります。	分解して各部品を正しく組み立て 直してください。

8 部品リスト

8.1 分解図



8.2 部品一覧

No.	1	2	3	4	5	6	7	8
部品名	六角穴付ボルト	ギアケース	固定プレート	ディスクギア	スプラインギア	六角穴付ボルト	スプリングワッシャー	プレート右側
No.	9	10	11	12	13	14	15	16
部品名	シャフト	ロードシープ	本体フレーム	上フック軸	上フック	カバー	プレート左側	爪ばね
No.	17	18	19	20	21	22	23	24
部品名	爪	ブレーキ座	ブレーキライニング	ラチェット	ハンドチェーンホイール	六角溝付ナット	ハンドチェーン	ガイドローラー
No.	25	26	27	28	29	30	31	32
部品名	ハンドホイールカバー	止めねじ	割りピン	スプリングワッシャー	スナップリング	ストリップバー	ピン	ロードチェーン
No.	33	34	35	36	37			
部品名	チェーンストッパーピン	ロックナット	下フック	チェーンピン	止めねじ			